

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	10
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	4
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	1
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	7
1. その人らしい暮らしの支援	5
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	23

事業所番号	1493100653
法人名	株式会社 白寿会
事業所名	グループホームふあいと芹が谷
訪問調査日	令和5年1月30日
評価確定日	令和5年2月20日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和4年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493100653	事業の開始年月日	令和4年2月1日	
		指定年月日	令和4年2月1日	
法人名	株式会社 白寿会			
事業所名	グループホームふあいと芹が谷			
所在地	(233-0006)			
	横浜市港南区芹が谷5-38-11			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護		登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護		通い定員	名
			宿泊定員	名
			定員計	18名
			ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和5年1月20日	評価結果 市町村受理日	令和5年2月27日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.hakujukai.co.jp/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

『自分や、自分の家族にとってしてもらいたいと思うことをご利用者様にしてさしあげる。』をモットーに少人数で家庭的な雰囲気の中で、ご利用者様にとって馴染みのある日常生活をベースとした、心身の安定と可能な限りの自立生活を支援しております。又季節のイベントや誕生日会等の行事や日常生活での洗濯物たたみ、散歩、体操を通じて心身の健康維持、残存機能の維持を目指し支援しております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和5年1月30日	評価機関 評価決定日	令和5年2月20日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は、株式会社白寿会の経営です。同法人は「医療法人社団平平会」と共に、グループ法人として横浜市・川崎市・鎌倉市で、グループホーム・看護小規模多機能型事業所・訪問介護ステーション・小規模多機能型居宅介護・クリニックを運営し、介護と医療の連携により「認知症や重度化」が進行しても住み慣れた地域で暮らせるよう、介護・医療両方から地域の高齢者を支えるサービスを提供しています。ここ「ふあいと芹が谷」はJR東戸塚駅からバスで10分ほど、「芹が谷団地前」で下車し徒歩3分ほどの住宅地の中にあります。令和4年2月開設し、まだ1年ほどの新しい事業所ですが、コロナ禍での開所ということもあり、地域との交流は進んでいませんが、近隣への散歩や隣接する駐車場の掃除の際に近隣の方と挨拶を交わし、事業所の認知度も少しずつ上がってきています。今後更なる交流を目指しています。

●開設1年目であり、管理者としてこの1年、利用者の生活を守るためにも、職員が働きやすい職場・働きやすい体制を整えることが必要と考え、個人面談を全員と行ってきました。知識向上と疑問点解消のために本部担当職員による研修を毎月実施すると共に、管理者による指導の下で接遇の強化を図っています。

●利用者は意思表示ができる方・自力歩行の出来る方が多く、コロナ禍ではありませんが、社会性等を維持する為にも感染症防止策を講じたうえで、近隣への散歩や、郵便局・買い物等にも職員と一緒に出かけしています。また、面会については、事前に予約の連絡をしていただいたうえで、面談室でお会いしていただくようにしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームふあいと芹が谷
ユニット名	だいち

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の共有と、それに対するサービスの提供を心掛け、実施している	法人の理念を共有し、法人の理念に沿ったサービス提供を心がけ、実施しています。ミーティングの中でも「理念に沿ってケアをしていきましょう」と話しています。今後、事業所独自の理念の作成と、ユニット毎の「今月の目標」を立ててケアに臨むよう、職員と話し合っています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の為現在交流は中止としている	コロナ禍の為、地域との交流は行っていませんが、散歩時や隣接する駐車場の掃除の際に、近隣の方と挨拶を交わしています。事業所の存在を認知していただくことで、地域との関わりを増やしていきたいと考えています。	地域との交流
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方へのアプローチはコロナ過もあり現状できていない		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会は現状未実施	事業所の開設1年目ということと、コロナ禍での開設ということもあり、運営推進会議の開催には至っていませんが、地域包括支援センターとは相談中であり、今後の開催に向けて、検討しています。	運営推進会議のメンバー確保
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	福祉事務所、横浜市との連絡は頻繁にとっており、関係性は良好	生活保護の利用者が入居しており、港南区の担当職員とは密に連絡を取り合っています。不明な点や判断に迷うことが生じた際にも、連絡し相談をしています。横浜市からの研修の案内等はメールでいただき、職員と共有し、必要に応じて参加しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関してはマニュアル作成し職員へ周知徹底をしています。また研修を実施しております。身体拘束会議の実施。	身体拘束に関しては、法人のマニュアルがあり、職員に周知徹底しています。本部の担当職員に依頼し、「身体拘束」をテーマにした研修を実施し、ミーティングで話し合い共有しています。現在、利用者のADLは高く、危険のある行動をとる方はおらず、身体拘束のないケアに努めています。	今後の継続
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止のため、マニュアルを作成し、職員へ周知徹底しております。また研修を実施し、虐待防止に努めております。	法人で虐待防止のマニュアルも作成し、周知徹底しています。身体拘束と合わせて研修も実施しています。入浴時に、皮膚の変色があった場合等は、職員が連絡をする体制を取っており、複数の職員で確認し、検討しています。	今後の継続
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	各関係機関（特に生活保護の方が多）連携をし後見制度を活用するようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時は必ず対面で説明し、理解していただいたうえで契約を行う。契約後も都度相談を受け適切な説明を行っております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族から要望等ある場合可能な限り実現するよう努めておりますが、コロナ禍の為面会等は厳しく制限させていただいております。	契約時に、苦情相談窓口の説明を行っていません。法人の営業の連絡先も明記し、管理者を通さずに法人に連絡できる体制を取っています。請求書と合わせて、居室担当者から近況報告と手紙を送付しています。利用者の意見は日々の関わりの中で聴くようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が意見や話がしやすいように面談の機会を設けたり、本部職員への連絡ができるようになっております。	職員が働きやすい職場環境を心がけ、半年に1度個人面談を行っています。日常的に職員と話す機会は多く、業務に限らず個人的な話もよく聞いています。月1回の運営会議で、職員の意見を共有し、本部への問い合わせが必要なことは、本部へ確認しています。	今後の継続	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の就労条件は都度見直しを図り、具体的には非常勤の夜勤手当のアップや、時給のアップを実施しました。	職員の就労条件は、法人本部で都度見直しを図り、非常勤の夜勤手当のアップや、時給のアップを実施しました。管理者としては、職員個々の事情に合わせたシフト調整を行い、職員のやりがいにつながるよう、努めています。	今後の継続	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人研修を行っております。また職員への資格取得支援制度が社内であり会社から費用負担があります。	事業所のオープン前に、入職時研修を法人の担当者から受けています。入職後は、OJTとして管理者及びリーダーが、遅番・早番・夜勤の研修を行っています。毎月法人研修を行っています。横浜市からの研修の案内は、メールで届き、必要に応じて参加しています。	今後の継続	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	現状できておりません。			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時や入居前面談時に御本人の意思を確認し、反映させています。また入居後もニーズへの対応はしております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時や入居前面談時に御家族への要望等はお伺いしており、入居後も要望への対応はできる限り行っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居申し込みや見学、電話での相談の際にしっかりと状況をお聞きして、生活における困難などの理解に努め、必要に応じたアドバイスをする様にしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	若いころの話や知恵など沢山の事を教えて頂いたきながら、日々の家事活動を一緒に行い、入居者様が充実した人生を送る事が出来るよう支援している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活面・医療面共に職員のみ意見だけではなく、ご家族と相談しながら行う。受診や行事などにも参加して頂くなど共に支え合っている。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話の支援を行い、馴染みの関係が途切れない様になっている。面会・外出・外泊希望も常に受け入れ、ゆっくりと過ごして頂ける様にしている。 ※令和4年度はコロナウイルスの影響で外出・外泊は自粛している。	電話の支援等を行い、馴染みの関係が途切れないよう支援しています。年賀状を含め、手紙のやり取りをしている方や、携帯電話を所持している方も多く、家族や友人とやり取りをしています。現在面会は解禁しており、事前予約をしていただき、面談室で行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格や行動などを把握して、トラブルを未然に回避するようにしている。座席など環境を工夫して、気の合う方との会話の機会を作っている。また、職員が間に入る事で孤立する事なく誰もが楽しめる様にしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在退去者無しではありますが、退去時や退去後のフォローも実施していきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常での会話や家族からの情報、ご本人様の思いや希望などを聞き、職員全員で把握に努めている。困難な方でも表情・行動などから察して、ご本人様の思いに沿えるようにフロア会議等で出来る事を見つけ支援につなげている。	入居時のアセスメントや入居後の日常の会話から、本人の思いや希望を聞き、職員全員で把握に努めています。意思表示の出来る利用者は多く、日々の関わりの中で把握した内容は申し送りノートに記入し、共有しています。利用者に興味を持つ事が、理解する一番の方法と日頃から話しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居当初に把握している生活歴と、生活の中でのご本人様との会話から、昔の暮らし方や生まれた場所の環境などを聞いたりして、新たな情報を集めている。ご家族様からも、情報集を行い馴染みの暮らしが出来るように配慮している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察を記録し個人の症状や状態の把握に努めている。毎日の申し送り、情報の共有をし、一人一人に合わせたケアを取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画を作成する時には、ご家族の希望やご本人様との会話などから収集した情報を反映し、希望に沿った介護計画を作成している。又、医師にも相談して様々な角度から検討し、その人らしい生活が送れる様にしている。	初回の面接時に、家族・本人の意向を基に目標値を設定し、介護計画を作成しています。入居後1ヶ月で検討し、特変がなければ長期で1年、短期で半年の見直しを行っています。体調や精神的にも安定している方が多く、3ヶ月に1回サービス担当者会議でモニタリングを行っています。	今後の継続	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や実践・結果・気づき等は、個別の記録に記入し、申し送りにて毎日新しい情報の共有をしている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍において現状積極的には行っておりませんが、買い物支援や、外出等を行っています。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍の為自粛中			
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様・ご家族様の希望のかかりつけ医を基本にしている。心身の状況に変化等が見られる場合は、かかりつけ医に相談し、紹介などで専門医へ移行の検討を行っている。移行の際は、ご家族様の納得の上で変更して頂き、適切な医療が受けられる様にしている。	本人・家族の希望のかかりつけ医を基本にしています。かかりつけ医からは、月4回の訪問診療があり、内科以外の専門医には家族対応で受診しています。看護師は週1回の訪問があり、医療連絡ノートで共有しています。歯科は月4回、利用者に合わせて訪問があります。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に24時間連絡が取れる体制となっており情報共有し、必要時に指示を受ける体制となっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族様・医師とカンファレンスを行い、事業所で出来る対応を話し合い、早期退院が出来るように取り組んでいる。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明に重度化・看取りに関してを具体的に明記し、事業所で出来る対応を明確にしている。かかりつけ医とも協力し、ご家族様の希望に沿う様、身心の変化が見られた際には、随時カンファレンスを実施している。	重要事項説明書に重度化・看取りに関して具体的に明記しています。契約時に指針を基に説明し、同意をいただいています。状況に変化があった場合に、再度家族に説明し、家族の希望に沿うよう、随時カンファレンスを実施しています。職員には、利用者に合わせて説明し、今後の対応等について学んでいます。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入居者様一人一人の緊急マニュアル・応急手当マニュアルを作成して、速やか対応できるように工夫している。各ユニットごとに内部研修を行い、緊急時等の対応に備えている。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力のもと避難訓練、災害時訓練の実施をする。	マニュアルを基に、職員には避難訓練の流れを話しています。今後、地震・火災想定での訓練を実施していく予定です。地域との協力体制は今後行っていく予定です。備蓄は、食糧・水が3日分、衛生用品は1週間分確保しています。人数分のヘルメットも用意しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活全体をご本人様の希望と在宅と同じ暮らしの継続ができるような声掛けをし、自己決定できるようにしている。プライバシーについては、ご本人様を傷つける事がないよう、職員同士で状況確認をしている。	個人情報の保護に関しては、入社時と退社時に誓約書を提出しています。在宅と同じ暮らしが継続できるよう、利用者の様子を見ながら声掛けをし、本人の望んでいることを把握するよう努めています。入浴時や排泄時には羞恥心にも配慮した対応を心がけています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の希望を選択出来る場面を作った支援している。「どうされますか」などの様に自己決定のできるような声かけをしている。入居者様に聞く時は待つことを大切にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や就寝時間を設ける事無く自由にして頂いている。家事や散歩・入浴時間は希望に添えるよう職員の勤務時間を調整して行い家事や散歩についてもご本人様のペースに合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	介護優先ではなく、ご本人様が気に入っているものを身につけてもらっている。アクセサリや馴染みの洋服を選んで頂き、日々のお化粧品や外出時のお化粧の支援をしている。理美容では、ご本人の希望に沿った髪型をしていただいている。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの意欲を生かして、出来ることを主体に、食事作りや盛り付けなどの食事の支度を一緒に行っている。食後の片付けも一緒に行っている。	食事は業者に依頼しています。行事の時には特別食を依頼し、職人が訪問し寿司を握ってくださることもあります。誕生日のケーキは、職員が手作りをし、クリスマスにはフライドチキンをテイクアウトし、楽しんでいただきました。食事の後片付け等、出来ることを一緒に行うことで残存能力の維持につなげています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によるバランスのとれた献立に沿って行っている。水分の不足がちの方には、チェック表を作成し確保出来るように支援している。個別に、減塩・捕食・形態別・減量などの支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必ず毎食後、口腔ケアを行っている。個々の能力により、声かけ・誘導・介助などに分けて実施している。義歯を使用している方には、洗浄剤などの支援もしている。必要な方については、月4回歯科医による口腔ケアを行っている。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンをチェック表などを用いて把握し、声かけ・定期的なトイレ誘導を行い、失敗の軽減に努めている。	全員の排泄チェック表をつけ、個々の排泄パターンを把握しています。ほとんどの方が、自分の意思でトイレに行き排泄を行っていますが、それ以外の方は、様子や時間を見て、声掛け誘導し、トイレでの排泄支援を行っています。夜間も自分の意思でトイレに行かれる方が多くいます。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の管理が必要な方には、排泄表をつけ、便秘の予防と対応をしている。繊維物や水分の摂取・運動、ラジオ体操など個別に行い予防している。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様の意向を調査し、個々に合わせた入浴ができるように支援している。職員の都合で曜日を決めたり、時間を決めたりはしていない。入りたくない場合もある為、自己決定できるように、「お風呂いかがですか?」と聞くようにしている。	基本的には午前中、1日3名位の方が入浴できるよう支援しています。職員の都合で曜日や時間を決めることのないよう、利用者の意向を尊重しています。日曜日は入浴の無い日にし、レクに充てています。ゆず湯や菖蒲湯等の季節のお風呂も楽しんでいただいています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムに合わせて休息を取って頂いている。食後の休憩など、体力などに合わせている。就寝起床時間は生活リズムに合わせて、個々のタイミングで支援し、安眠に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を個人別にファイリングしており、薬の確認を出来る様にしている。重要な薬等については、会議や申し送り簿等で効果・副作用などの説明をしている。内容に沿って全職員で変化などの観察に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの楽しみや役割が見出せる様に、個々の能力をアセスメントし、その方が得意な家事などをを見つけ出し行っていただいている。天気の良い日の散歩や飲み物などの嗜好品の提供なども支援をしている。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様の協力により、外食やカラオケなど外出をして頂くケースもある。現在コロナの影響で自粛中。	コロナ禍で、現在は遠慮していただいておりますが、家族の協力で外食や宿泊等も基本的には支援しています。日常的に近隣への散歩や、郵便局、買い物等に感染症防止対策を講じながら職員と一緒に出かけています。法人の職員と買い物に行き、お茶を楽しんできたり、洋服を買ってきたりすることもあります。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を使うことは社会参加として大切なので、能力に応じてご自身で買い物をして頂いている。会計についても本人の力に合わせ支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居時に個人で携帯電話持参のニーズに応え使用して頂いている。法人の電話で希望に沿って電話をかけたり、受けた電話を本人に回す支援をし、手紙も自由にやり取り出来る様にしている。又、必要に応じて代筆等の支援もしている。			
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家全体が落ち着いた家庭的な雰囲気になっている。照明にも刺激の無いように配慮している。ご入居者様の馴染みのある物や季節の草花・作品などを飾り、温かい空間作りを行なっている。	新しい事業所で、全体が落ち着いた雰囲気になっています。外のプランターに花を植え、利用者と一緒に水やりをしています。リビングの壁には、ちぎり絵で作った季節に合わせた飾りつけを行い、季節感を感じていただいています。換気のために、キッチンの窓を常に開け、換気扇も回し、環境に配慮しています。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に利用できるソファやテーブル・イスがある。お茶を飲んだり、本を読んだり、入居者様同士が過ごしたり、1人になれる場所を確保している。			
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具等をを自由に持ち込んで頂き、安心して過ごして頂ける様にしている。ご家族様と相談し、安全なども良く考え、生活しやすい様に工夫している。	居室には、クローゼットとエアコンが完備されています。自宅で使用していた使い慣れたタンスや小物入れ、仏壇やテレビ、趣味の作品等を持ち込んでいただき、本人が安心して過ごせるよう、支援しています。ベランダには自由に出ることができ、朝等に歩いている利用者もいます。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の能力を把握して、家具等で歩行の導線の工夫を行い、車イスなどを使用しなくても生活できる様に支援している。部屋の入口に名札等を飾って自室の確認が出来る様にしている。			

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム ふあいと芹が谷

作成日

令和5年1月30日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の未実施	運営推進会議の実施	コロナ禍を踏まえた時期の選定と、地域包括との連携	3ヶ月
2	18	人員体制の不足	人員充足、レクや余暇の時間の増加	人員採用と研修、情報共有	3ヶ月
3	20	コロナ禍において面会、外出、外泊の機会激減	積極的な面会、外出、外泊	感染対策や社会情勢を見ながら早期判断	3ヶ月
4	16	災害対策の未実施	避難訓練、消防訓練の実施	消防署、地域住民の方との連携と実施スケジュールの確保	1ヶ月
5	49	外出機会の激減	外出レクの実施増	コロナ禍を踏まえ感染症に注意しまずはドライブ等の実施を計画	1ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	グループホームふあいと芹が谷
ユニット名	あおぞら

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の共有と、それに対するサービスの提供を心掛け、実施している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の為現在交流は中止としている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方へのアプローチはコロナ過もあり現状できていない		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会は現状未実施		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	福祉事務所、横浜市との連絡は頻繁にとっており、関係性は良好		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関してはマニュアル作成し職員へ周知徹底をしています。また研修を実施しております。身体拘束会議の実施。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止のため、マニュアルを作成し、職員へ周知徹底しております。また研修を実施し、虐待防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	各関係機関（特に生活保護の方が多い）連携をし後見制度を活用するようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時は必ず対面で説明し、理解していただいたうえで契約を行う。契約後も都度相談を受け適切な説明を行っております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族から要望等ある場合可能な限り実現するよう努めておりますが、コロナ禍の為面会等は厳しく制限させていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が意見や話がしやすいように面談の機会を設けたり、本部職員への連絡ができるようになっております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の就労条件は都度見直しを図り、具体的には非常勤の夜勤手当のアップや、時給のアップを実施しました。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人研修を行っております。また職員への資格取得支援制度が社内であり会社から費用負担があります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	現状できておりません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時や入居前面談時に御本人の意思を確認し、反映させています。また入居後もニーズへの対応はしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時や入居前面談時に御家族への要望等はお伺いしており、入居後も要望への対応はできる限り行っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居申し込みや見学、電話での相談の際にしっかりと状況をお聞きして、生活における困難などの理解に努め、必要に応じたアドバイスをする様にしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	若いころの話や知恵など沢山の事を教えて頂いたきながら、日々の家事活動を一緒に行い、入居者様が充実した人生を送る事が出来るよう支援している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活面・医療面共に職員のみ意見だけではなく、ご家族と相談しながら行う。受診や行事などにも参加して頂くなど共に支え合っている。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話の支援を行い、馴染みの関係が途切れない様にしている。面会・外出・外泊希望も常に受け入れ、ゆっくりと過ごして頂ける様にしている。 ※令和4年度はコロナウイルスの影響で外出・外泊は自粛している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格や行動などを把握して、トラブルを未然に回避するようにしている。座席など環境を工夫して、気の合う方との会話の機会を作っている。また、職員が間に入る事で孤立する事なく誰もが楽しめる様にしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在退去者無しではありますが、退去時や退去後のフォローも実施していきます。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常での会話や家族からの情報、ご本人様の思いや希望などを聞き、職員全員で把握に努めている。困難な方でも表情・行動などから察して、ご本人様の思いに沿えるようにフロア会議等で出来る事を見つけ支援につなげている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居当初に把握している生活歴と、生活の中でのご本人様との会話から、昔の暮らし方や生まれた場所の環境などを聞いたりして、新たな情報を集めている。ご家族様からも、情報集を行い馴染みの暮らしが出来るように配慮している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察を記録し個人の症状や状態の把握に努めている。毎日の申し送り、情報の共有をし、一人一人に合わせたケアを取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画を作成する時には、ご家族の希望やご本人様との会話などから収集した情報を反映し、希望に沿った介護計画を作成している。又、医師にも相談して様々な角度から検討し、その人らしい生活が送れる様にしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や実践・結果・気づき等は、個別の記録に記入し、申し送りにて毎日新しい情報の共有をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍において現状積極的には行っておりませんが、買い物支援や、外出等は行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍の為自粛中		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様・ご家族様の希望のかかりつけ医を基本にしている。心身の状況に変化等が見られる場合は、かかりつけ医に相談し、紹介などで専門医へ移行の検討を行っている。移行の際は、ご家族様の納得の上で変更して頂き、適切な医療が受けられる様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に24時間連絡が取れる体制となっており情報共有し、必要時に指示を受ける体制となっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族様・医師とカンファレンスを行い、事業所で出来る対応を話し合い、早期退院が出来るように取り組んでいる。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明に重度化・看取りに関してを具体的に明記し、事業所で出来る対応を明確にしている。かかりつけ医とも協力し、ご家族様の希望に沿う様、身心の変化が見られた際には、随時カンファレンスを実施している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入居者様一人一人の緊急マニュアル・応急手当マニュアルを作成して、速やかに対応できるように工夫している。各ユニットごとに内部研修を行い、緊急時等の対応に備えている。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力のもと避難訓練、災害時訓練の実施をする。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活全体をご本人様の希望と在宅と同じ暮らしの継続ができるような声掛けをし、自己決定できるようにしている。プライバシーについては、ご本人様を傷つける事がないよう、職員同士で状況確認をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の希望を選択出来る場面を作った支援している。「どうされますか」などの様に自己決定のできるような声かけをしている。入居者様に聞く時は待つことを大切にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や就寝時間を設ける事無く自由にして頂いている。家事や散歩・入浴時間は希望に添えるよう職員の勤務時間を調整して行い家事や散歩についてもご本人様のペースに合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	介護優先ではなく、ご本人様が気に入っているものを身につけてもらっている。アクセサリーや馴染みの洋服を選んで頂き、日々のお化粧品や外出時の化粧品の支援をしている。理美容では、ご本人の希望に沿った髪型をしていただいている。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの意欲を生かして、出来ることを主体に、食事作りや盛り付けなどの食事の支度を一緒に行っている。食後の片付けも一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によるバランスのとれた献立に沿って行っている。水分の不足がちの方には、チェック表を作成し確保出来るように支援している。個別に、減塩・捕食・形態別・減量などの支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必ず毎食後、口腔ケアを行っている。個々の能力により、声かけ・誘導・介助などに分けて実施している。義歯を使用している方には、洗浄剤などの支援もしている。必要な方については、月4回歯科医による口腔ケアを行っている。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンをチェック表などを用いて把握し、声かけ・定期的なトイレ誘導を行い、失敗の軽減に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の管理が必要な方には、排泄表をつけ、便秘の予防と対応をしている。繊維物や水分の摂取・運動、ラジオ体操など個別に行い予防している。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様の意向を調査し、個々に合わせた入浴ができるように支援している。職員の都合で曜日を決めたり、時間を決めたりはしていない。入りたくない場合もある為、自己決定できるように、「お風呂いかがですか？」と聞くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムに合わせて休息を取って頂いている。食後の休憩など、体力などに合わせている。就寝起床時間は生活リズムに合わせて、個々のタイミングで支援し、安眠に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を個人別にファイリングしており、薬の確認を出来る様にしている。重要な薬等については、会議や申し送り簿等で効果・副作用などの説明をしている。内容に沿って全職員で変化などの観察に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの楽しみや役割が見出せる様に、個々の能力をアセスメントし、その方が得意な家事などをを見つけ出し行っていただいている。天気の良い日の散歩や飲み物などの嗜好品の提供なども支援をしている。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様の協力により、外食やカラオケなど外出をして頂くケースもある。現在コロナの影響で自粛中。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を使うことは社会参加として大切なので、能力に応じてご自身で買い物をして頂いている。会計についても本人の力に合わせ支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居時に個人で携帯電話持参のニーズに応え使用して頂いている。法人の電話で希望に沿って電話をかけたり、受けた電話を本人に回す支援をし、手紙も自由にやり取り出来る様にしている。又、必要に応じて代筆等の支援もしている。			
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家全体が落ち着いた家庭的な雰囲気になっている。照明にも刺激の無いように配慮している。ご入居者様の馴染みのある物や季節の草花・作品などを飾り、温かい空間作りを行なっている。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に利用できるソファやテーブル・イスがある。お茶を飲んだり、本を読んだり、入居者様同士が過ごしたり、1人になれる場所を確保している。			
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具等をを自由に持ち込んで頂き、安心して過ごして頂ける様にしている。ご家族様と相談し、安全なども良く考え、生活しやすい様に工夫している。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の能力を把握して、家具等で歩行の導線の工夫を行い、車イスなどを使用しなくても生活できる様に支援している。部屋の入口に名札等を飾って自室の確認が出来る様にしている。			

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム ふあいと芹が谷

作成日

令和5年1月30日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の未実施	運営推進会議の実施	コロナ禍を踏まえた時期の選定と、地域包括との連携	3ヶ月
2	18	人員体制の不足	人員充足、レクや余暇の時間の増加	人員採用と研修、情報共有	3ヶ月
3	20	コロナ禍において面会、外出、外泊の機会激減	積極的な面会、外出、外泊	感染対策や社会情勢を見ながら早期判断	3ヶ月
4	16	災害対策の未実施	避難訓練、消防訓練の実施	消防署、地域住民の方との連携と実施スケジュールの確保	1ヶ月
5	49	外出機会の激減	外出レクの実施増	コロナ禍を踏まえ感染症に注意しまずはドライブ等の実施を計画	1ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。